



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月3日

上場会社名 ラオックス株式会社
 コード番号 8202
 代表者 役職名 代表取締役社長 山下 巖
 問合せ先責任者 役職名 取締役管理本部長 山本 融
 配当支払開始予定日 平成 - 年 - 月 - 日

上場取引所 東証二部
 URL <http://www.laox.co.jp>
 TEL (03)5446-5771

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	15,150	29.5	1,281	-	1,200	-	1,169	-
19年3月期第1四半期	21,489	22.0	666	-	633	-	646	992.0
19年3月期	80,671		4,040		4,152		5,292	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	17	22	-	
19年3月期第1四半期	9	52	-	
19年3月期	77	93	-	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年3月期第1四半期	39,865		21,095		51.6		303	17
19年3月期第1四半期	57,658		28,554		48.4		410	58
19年3月期	40,137		22,431		54.5		322	21

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	544		148		430		1,844	
19年3月期第1四半期	767		3,960		1,634		3,193	
19年3月期	695		12,467		10,440		2,967	

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
	第1四半期末	
(基準日)	円	銭
19年3月期第1四半期	-	
20年3月期第1四半期	-	

3. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）【参考】

（％表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	30,980	17.0	2,370	-	2,210	-	720	-	10	60
通期	60,710	24.7	3,380	-	3,030	-	1,010	-	14	87

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

（注）詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

今回の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期(平成 19 年 4 月 1 日から平成 19 年 6 月 30 日)におけるわが国経済は、原油等の原材料価格の高止まり、金利上昇や米国経済の減速懸念等、先行きに対する不安定要素があるものの、企業収益が堅調に推移したことによる設備投資や雇用環境の改善による個人消費増により、景気はゆるやかながら好調に推移しております。

当家電販売業界では、売上規模極大化を志向した覇権争いが益々激化してきており、厳しい経営環境が続いております。

このような情勢の中、当社グループは今期を黒字化達成のための本格的な事業再生計画の初年度と位置付け、当第 1 四半期においては有利子負債の完済および運転資金の確保を目指し、資産圧縮を計画しておりましたが、資産売却の計画遅延により前期下期同様、在庫圧縮の施策を優先した事業展開となりました。

店舗展開では、地域密着型新規小型店舗である高円寺店を出店する一方で、不採算店舗の綱島樽町店、茂原店、デューティーフリー大阪店の 3 店舗を閉鎖いたしました。

以上の結果、当第 1 四半期は、売上高 151 億 50 百万円、営業損失 12 億 81 百万円、経常損失 12 億円、四半期純損失 11 億 69 百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

第 1 四半期の総資産につきましては、前年同期に比べ、177 億 93 百万円減少し、398 億 65 百万円となりました。

また、純資産につきましては、前年同期に比べ、74 億 59 百万円減少し、210 億 95 百万円となりました。

第 1 四半期における現金及び現金同等物は、前年同期に比べ 13 億 49 百万円減少し、18 億 44 百万円となりました。

(営業活動キャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5 億 44 百万円の支出となりました。

これは主に、仕入債務が 3 億 89 百万円増加したものの、税金等調整前四半期純損失 12 億 1 百万円、売上債権及び棚卸資産がそれぞれ 7 億 44 百万円、2 億 51 百万円増加したことによります。

(投資活動キャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1 億 48 百万円の支出となりました。

これは主に、新規出店及び既存店の改装に伴う有形固定資産の取得による支出が 1 億 38 百万円となったことによります。

(財務活動キャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4 億 30 百万円の支出となりました。

これは主に、借入金の返済に伴う資金の減少が 4 億 30 百万円となったことによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(1) 中間期の業績予想の修正

当第 1 四半期においては有利子負債の完済および運転資金の確保を目指し、資産圧縮を計画しておりましたが、資産売却計画が第 2 四半期後半にずれ込んだことや売却金額が当初計画を下回ることから、有利子負債の完済は達成できるものの、運転資金の確保について当初計画を下回る見込みとなっております。従って、前期下期同様、在庫圧縮の施策を優先した事業展開となり、売上高は当初計画を下回ることが予想されます。利益面においても、在庫圧縮の施策を優先したことにより当初見込みの粗利改善の達成が困難な状況となっております。その結果、中間期においては営業損失および経常損失が拡大すると予想されます。当期利益については、資産売却による特別利益が発生するため、黒字を確保する見込みとなっております。

(2) 通期の業績予想の修正

下期においては、第 2 四半期の資産圧縮により、当初計画を下回るものの、運転資金の確保が図られること、不採算店舗の閉鎖により既存店舗における品揃えの充実が図られること等により、既存店売上高は前年同期比で 100% を達成し、経費面では不採算店の閉鎖や希望退職制度の導入を計画通りに遂行することにより削減が見込まれることから、収益面では中間期より改善いたしますが、営業利益および経常利益ベースでの黒字化達成は困難な状況となっております。当期利益については、中間期における資産売却による特別利益が発生するものの、営業損失および経常損失をカバーするには至らず、当初計画における当期利益通期黒字化を達成することが困難となっております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準については、簡便法によっております。

第 1 四半期におきましては、実地棚卸は行わず帳簿棚卸残高によっております。

影響額が僅少なものにつきましては、一部簡便的な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当連結会計年度から、法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産の減価償却費については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

5.（要約）四半期連結財務諸表

(1)（要約）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円、％）

科 目	前年同四半期末 平成19年3月期 第1四半期末	当四半期末 平成20年3月期 第1四半期末	増 減		(参考) 平成19年3月期末
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産				%	
1 現金及び預金	3,493	1,844	1,649	47.2	2,967
2 受取手形及び売掛金	2,350	1,996	354	15.1	1,251
3 たな卸資産	13,000	7,741	5,258	40.4	7,490
4 その他	2,818	2,162	657	23.3	2,031
5 貸倒引当金	9	0	9	96.0	0
流動資産合計	21,654	13,744	7,910	36.5	13,741
固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	4,954	4,090	864	17.4	4,100
(2) 土地	11,951	6,170	5,780	48.4	6,170
(3) その他	899	709	190	21.2	736
有形固定資産合計	17,805	10,970	6,835	38.4	11,007
2 無形固定資産	2,781	1,873	907	32.6	1,952
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	3,208	1,320	1,888	58.9	1,529
(2) 長期貸付金	125	116	7.8	7.8	114
(3) 敷金保証金	12,328	12,558	230	1.9	12,543
(4) その他	1,239	826	412	33.3	793
(5) 貸倒引当金	1,485	1,545	60	4.0	1,545
投資その他の資産合計	15,416	13,276	2,140	13.9	13,436
固定資産合計	36,003	26,120	9,883	27.5	26,395
資産合計	57,658	39,865	17,793	30.9	40,137
(負債の部)					
流動負債					
1 支払手形及び買掛金	5,436	4,345	1,090	20.1	3,956
2 短期借入金	6,800	3,856	2,944	43.3	4,286
3 賞与引当金	14	127	113	801.9	101
4 その他	3,971	4,257	286	7.2	3,045
流動負債合計	16,221	12,587	3,634	22.4	11,389
固定負債					
1 長期借入金	8,000	1,710	6,290	78.6	1,710
2 退職給付引当金	1,765	1,537	227	12.9	1,590
3 役員退職慰労引当金	564	565	1	0.2	565
4 その他	2,552	2,368	184	7.2	2,450
固定負債合計	12,882	6,182	6,700	52.0	6,316
負債合計	29,104	18,769	10,334	35.5	17,705
(純資産の部)					
株主資本					
1 資本金	19,011	19,011	0	0	19,011
2 資本剰余金	7,336	6,759	576	7.9	7,336
3 利益剰余金	1,583	4,928	6,511	411.3	4,355
4 自己株式	395	396	0	0.2	397
株主資本合計	27,535	20,446	7,088	25.7	21,594
評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	347	140	207	59.7	285
評価・換算差額金等合計	347	140	207	59.7	285
少数株主持分	671	508	162	24.2	550
純資産合計	28,554	21,095	7,459	26.1	22,431
負債、純資産合計	57,658	39,865	17,793	30.9	40,137

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)		増減		(参考) (平成19年3月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
売上高	21,489	100.0	15,150	100.0	6,339	29.5	80,671	100.0
売上原価	17,586	81.8	12,232	80.7	5,353	30.4	65,471	81.2
売上総利益	3,903	18.2	2,917	19.3	985	25.3	15,199	18.8
販売費及び一般管理費	4,569	21.3	4,199	27.7	370	8.1	19,240	23.9
営業損失	666	3.1	1,281	8.5	615	92.4	4,040	5.1
営業外収益								
1 仕入割引	180		89		91	50.7	569	
2 負ののれん償却額	8		8		0	0	33	
3 その他	62		44		18	29.7	250	
営業外収益合計	251	1.2	141	0.9	110	43.8	852	1.1
営業外費用								
1 支払利息	133		45		88	66.1	422	
2 持分法による投資損失	20				20		378	
3 その他	65		14		51	77.8	163	
営業外費用合計	219	1.0	59	0.4	159	72.7	964	1.2
経常損失	633	2.9	1,200	7.9	566	89.3	4,152	5.2
特別利益	1,275	5.9	0	0.0	1,275	100.0	5,794	7.2
特別損失	3	0.0	0	0.0	2	69.4	7,143	8.8
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は純損失()	638	3.0	1,201	7.9	1,839		5,501	6.8
法人税、住民税及び事業税	7	0.0	10	0.1	2	30.7	38	0.0
法人税等調整額							110	0.0
少数株主損失	15	0.1	42	0.3	26	168.6	136	0.1
四半期(当期) 純利益又は純損失()	646	3.0	1,169	7.7	1,815		5,292	6.6

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 平成19年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益 (又は純損失())	638	1,201	5,501
減価償却費	172	172	705
減損損失	-	-	3,825
連結調整勘定償却額	3	-	-
負のれん償却額	-	8	33
賞与引当金の減少額	10	26	98
退職給付引当金の減少額	65	52	240
受取利息及び受取配当金	9	10	69
支払利息	133	45	422
持分法による投資損失	20	-	378
固定資産売却益	1,188	-	5,701
売上債権の減少額(又は増加額())	496	744	583
棚卸資産の減少額(又は増加額())	254	251	4,320
仕入債務の減少額()(又は増加額)	1,001	389	2,480
未収入金の減少額	388	239	508
その他	613	885	3,024
小 計	530	510	159
利息及び配当金の受取額	19	10	84
利息の支払額	139	42	428
法人税等の支払額	116	1	191
営業活動によるキャッシュ・フロー	767	544	695
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	147	138	629
有形固定資産の売却による収入	4,315	-	12,093
無形固定資産の取得による支出	4	0	27
貸付金の回収による収入	6	0	17
敷金保証金の差入による支出	329	105	632
敷金保証金の返還による収入	125	99	696
その他	5	2	949
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,960	148	12,467
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入れによる収入	2,666	-	13,166
短期借入金の返済による支出	-	-	11,804
長期借入れによる収入	-	-	3,000
長期借入金の返済による支出	4,300	430	14,800
その他	0	0	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,634	430	10,440
現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額())	1,558	1,123	1,332
現金及び現金同等物期首残高	1,635	2,967	1,635
現金及び現金同等物期末残高	3,193	1,844	2,967

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。